

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画, 京都市循環型社会推進基本計画（2009-2020）		

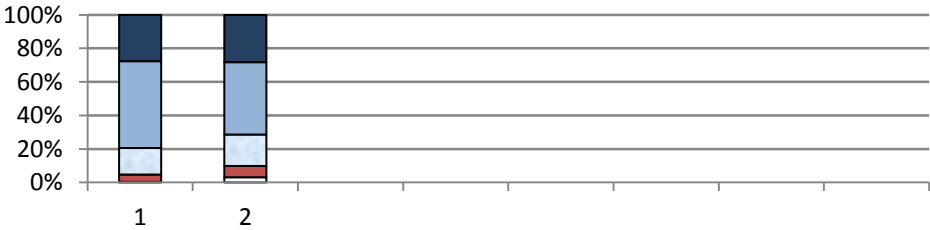
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	a	b	906	895	893	99.8%	b	1.00
2	再生利用率(%)	a	b	21.3	23.5	23.4	100.4%	a	1.00
3	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	338	349	340	102.6%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	152	285	87	24	2	550	a	
		27.6%	51.8%	15.8%	4.4%	0.4%			
2	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	155	237	103	37	17	549	a	
		28.2%	43.2%	18.8%	6.7%	3.1%			
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						a	



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					24 年度	A
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						24 年度	A
(原因分析) ・家庭ごみの7割を占める紙ごみと生ごみの減量に関する啓発を積極的に進めるとともに、事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の活用等による啓発・指導などを実施したことにより、本市のごみの受入量は減少し、一人一日当たりのごみ量は11グラム減少したが、目標値には届かなかった。 ・資源物回収拠点の拡大や資源物回収拠点検索システム「資源物回収マップ」の運用開始など、資源物回収を促進する取組や剪定枝・刈草等の資源化可能なごみの民間施設への誘導等の施策を実施したことにより、再生利用率は向上し、目標値を達成した。 ・本市のごみ焼却量は減少したものの、昨年度と同様、主に夏季の蒸気使用を抑え、より多くの蒸気を発電に用いるなどの取組を行った結果、ごみ1トン当たりの発電量は前年度に比べ増加し、目標値を達成した。						23 年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	34,505	36,802	良い	環境政策局
2	地域単位で資源物を回収するコミュニティ回収事業	53,210	53,702	良い	環境政策局
3	リユースびん（リターナブルびん）等の拠点回収	23,298	24,690	普通	環境政策局
4	蛍光灯拠点回収事業	14,266	15,473	良い	環境政策局
5	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	14,180	19,273	普通	環境政策局
6	資源物回収拠点の設置	81,239	84,467	かなり良い	環境政策局
7	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	21,086	20,498	良い	環境政策局
8	紙ごみリサイクル推進事業	8,866	6,464	悪い	環境政策局
9	ごみ減量・分別普及啓発経費	30,258	24,356	良い	環境政策局
10	ごみ減量推進会議の活動の支援～市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進～	73,989	74,473	良い	環境政策局
11	不用品リサイクル情報案内システム運用	6,423	—	かなり悪い	環境政策局
12	京（みやこ）の環境みらい創生事業	16,879	—	—	環境政策局
13	各区環境パートナーシップ事業	10,308	—	良い	環境政策局
14	小型家電リサイクル事業	13,240	13,438	かなり良い	環境政策局
15	包装材削減推進京都モデルの構築～容器包装材の削減に関する条例の制定～	17,028	19,391	普通	環境政策局
16	イベント等のエコ化の推進～イベント等でのリユース食器の普及促進～	12,906	16,581	かなり良い	環境政策局
17	KYOTOエコマナーの活用～マイボトル持参と衣料品回収行動の促進～	17,594	25,341	かなり良い	環境政策局
18	生ごみ減量推進事業～生ごみの3キリや堆肥化等の取組による生ごみの減量・リサイクルの推進～	36,753	59,721	良い	環境政策局
19	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,046	10,389	良い	環境政策局
20	大型ごみのリユースモデル実施	17,269	6,776	良い	環境政策局
21	有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業	35,453	26,581	かなり良い	環境政策局
22	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	66,806	69,971	良い	環境政策局
23	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	25,194	27,278	かなり良い	環境政策局
24	京都環境保全公社への府市協調支援	1,695,116	1,540,988	かなり良い	環境政策局
25	大岩街道周辺地域対策（岡田山撤去関連事業等）	26,543	27,387	悪い	環境政策局
26	廃棄物排出事業者指導業務	195,241	205,693	普通	環境政策局
27	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	27,083	68,155	—	環境政策局
28	焼却灰溶融施設整備	3,640	1,433,882	—	環境政策局
29	埋立処分地整備事業	312,143	404,233	—	環境政策局
30	バイオマス活用の推進	24,086	31,706	—	環境政策局
31	「京都市循環型社会推進基本計画（2009～2020）」の推進	9,790	9,261	—	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・紙ごみやその他資源ごみを徹底的に分別する取組を実施していくとともに、食材を使い切る「使いキリ」、食べ残しをしない「食べキリ」、ごみを出す前に水を切る「水キリ」、これら3つの「キリ」を推進する「生ごみ3キリ運動」による生ごみ減量に向けた啓発の強化等により、ごみの更なる減量と再生利用率の向上に努める。
- ・クリーンセンターの施設整備計画を進めていくことにより発電効率の向上に努める。
- ・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感評価の維持、更なる向上を図る。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	循環企画課	連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0			
-----	-------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	906	895	11グラム減	893	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	99.8%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		750グラム	32年度	80.7%	京都市循環型社会推進基本計画（2009～2020）

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0グラム以下
b：0グラム超～59グラム以下
c：59グラム超～118グラム以下
d：118グラム超～177グラム以下
e：177グラム超

6 基準説明

当年度の目標値（893グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画（2009～2020）の基準年度（平成20年度）のごみ量（1,070グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（59グラム間隔）で基準を設定

7 評価結果

23	24	25
a	b	b

1 指標の説明

ごみの総排出量に対する再生利用量の割合

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けたリサイクルの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	21.3	23.5	2.2ポイント増	23.4	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	100.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		31%	32年度	75.8%	京都市循環型社会推進基本計画＜2009～2020＞

5 評価基準

目標値－最新値が、
a：0%以下
b：0%超～1.8%以下
c：1.8%超～3.6%以下
d：3.6%超～5.4%以下
e：5.4%超

6 基準説明

当年度の目標値（23.4%）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画（2009～2020）の基準年度（平成20年度）の再生利用率（18.0%）を下回った場合をeとし、b～dは等間隔（1.8%間隔）で基準を設定

7 評価結果

23	24	25
a	b	a

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課		連絡先	2 1 2 - 9 8 2 0		
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
2 指標の意味						
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却等処理量 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	338	349	11(kWh/t)増	340	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(440kWh/t)に対する当年度の計画値	102.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		440kWh/t	32年度	79.3%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満						
6 基準説明						
全クリーンセンターにおける発電量を焼却等処理量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。						
7 評価結果						
23		24		25		
a		a		a		